

Rotary
District 2620

よいことの
ために
手をとりあおう

UNITE
FOR
GOOD

2025-26 年度 RI メッセージ
国際ロータリー会長
フランチェスコ・アレッシオ氏

Weekly Bulletin

藤枝南ロータリークラブ 会報



例 会：毎週金曜日
会 場：小杉苑 藤枝市青木 2-35-30
T E L：054-641-3321

事務局：藤枝商工会議所内
T E L：054-646-3919 F A X：054-643-2000
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2025-26 年度

会長：鈴木寿幸 副会長：桑原 茂 幹事：加藤智之 副幹事：杉浦 聡

例 会 第 1603 回 通常例会/小杉苑

ソング：君が代、奉仕の理想 ソングリーダー：増田陽子君

会 長 挨 拶

鈴木寿幸君



本日は、初めての会長挨拶ですのでクラブ運営方針についてお話させていただきます。クラブ計画書に記載をさせていただきました。今年度は、テーマを「順風満帆」得手に帆を挙げて、さあ、前に進もうとしました。

私は、2013 年度に当クラブに入会いたしましたので、ロータリー歴は 12 年あまりとなります。さまざまなロータリー活動に参加できたことにより、ロータリーの良いところが、少しずつですが、分かるようになってきました。

今年度は、「藤枝南クラブ創立 35 周年」の年度となります。漆畑年度から取り組みました「RI2620 地区青少年交換プログラム」では、2025 年 8 月には、現在、藤枝東高校に在学している「山本 空」君を送り出し、ハンガリーから「マーテ・ベンツェ君」をホストクラブとして受入れます。2026 年 7 月まで 1 年間、長期派遣・受入学生への支援、ホームステイをお願いする「ホストファミリー」の若林さん、竹田さん、植田さんへの支援が、今までにない奉仕活動となります。

また、2026-27 年度は、当クラブの若林秀典さんが「2620 地区ガバナー」となりますので、多くの藤枝南クラブのメンバーが、若林さんを支える地区役員として活躍するための準備・計画をする年度となります。

「創立 35 周年・青少年長期派遣と受入・米山記念奨学生・地区ガバナーエレクト年度」と通常では経験のできない体験ができることを楽しみにしております。

ロータリーを楽しむ最高の方法は、自分の個性、得意なことをさらに個性的に伸ばして、よい風向きを得たならば、帆を高く挙げて、ロータリーの仲間と勢いよく、前に進みいろいろなことを経験することで、自分自身が成長することができると思っています。

初代、富澤会長が掲げた「Enjoy Rotary」を掲げて魅力あるロータリー活動をさらに楽しく広げてまいりますので、みなさまのご協力をお願いいたします。

以上、会長挨拶とさせていただきます。

出席報告

森下傑君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
43/47 91.48%	43/49 87.75%

(1)欠席者（事前連絡とメイクアップをどうぞ）

○川口君○樽井君○早川君 内山君

(1)メイクアップ者

食事準備数	食事提供数	残	累計残
46	45	1	1

パーフェクト例会数:

欠席連絡は、当日朝10時前までをお願いします

■ スマイルBOX

森下傑君

- ・本年度 35 代藤枝南クラブの会長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします
鈴木寿幸君
- ・先月、夜間例会での激励会ありがとうございました。7月1日よりガバナーエレクトになりました。2年間よろしくお願いいたします。
若林秀典君
- ・ありがとうございました。
富澤静雄君
- ・誕生日プレゼントありがとうございました。
77歳(喜寿)になりました。
渡辺哲朗君
- ・妻の誕生日祝いありがとうございました。
小林正敏君
- ・妻(早苗ちゃん)の誕生日プレゼント有難うございます。
渡邊芳隆君
- ・誕生日プレゼントありがとうございました。
50に突入です。
数野晴紀君
- ・誕生日プレゼント有難うございます。とうとう50歳になりますが、精神年齢は20代です。
秋谷貴也君

スマイル累計額 39,000円

新会員
鷺坂和也君



■ 会長挨拶

鈴木寿幸君



本日は、今週の一言で「好きな言葉」、会長挨拶で「クラブ運営方針」をお話させていただきましたので、会員卓話は、RIフ

ランチエスコ会長メッセージ、稲葉雅之 2620 地区ガバナーメッセージ、藤枝南クラブ計画書についてお話をさせていただきます。

はじめに、皆さんにお伝えすることは、先月の6月8日のマリオ RI 会長エレクトの予期せぬ辞任受け、RI 理事会は、2023 年 8 月に行われた国際ロータリー会長指名委員会によって検討された候補者の中から、新たにイタリア・ラゲルザロータリークラブ会員のフランチェスコ・アレツォ氏を会長エレクトに選出しました。フランチェスコ会長は、矯正歯科医として個人診療所を構えており、イタリア、ヨーロッパ、アメリカの矯正歯科協会のメンバーとして活躍されているそうです。

2月に開催された「2025 年国際会議」で発表された 2025-26 年度会長メッセージである UNITE FOR DOOD「よいことのために手をとりあおう」はそのまま承認されました。

このメッセージは、政治、地理、イデオロギーでますます分断されている世界において、「結束する力」となるようロータリー会員に呼びかけるものです。

奉仕プロジェクトを通じ、ロータリーは、人種、宗教、職業を超えて、様々な背景をもつ人々をつなぎ、「地域社会で良いことを行う」という共通の使命のために活動しようと呼びかけです。

次は、稲葉雅之ガバナーメッセージをお伝えします。

2月9日から13日まで米国フロリダ州オーランドで開かれた国際会議へ参加し、RI 会長エレクトメッセージ「UNITE FOR DOOD」(よいことにために手をとりあおう)のもと。地区の運営に邁進してまいりまので、会長の皆さんには、メッセージをクラブの運営に生かしていただきたいと思います。

御協力を賜りますようお願いいたします。とのメッセージがありました。

オーランドの会議概要は、はじめに RI 会長エ

レクトから地区ガバナーエレクトに向けたスピーチがあり、「ロータリーの最も重要な資産であり、最大の課題でもある「**会員増強**」に焦点を当て、**組織の未来を支えるためのビジョン**を話されました。

彼のメッセージの中心となるのは、「**革新**」「**継続性**」「**パートナーシップ**」の3つの柱を基盤とした会員増強の筋道です。RI 会長は、ロータリーの持続可能性において**最も重要なのは「会員」**であると強調しました。

次は、「**継続的なビジョンが重要**」の話でした。ロータリーの成長を支えるためには、**単年度ごとのリーダーシップではなく、継続的なビジョン**が不可欠であると指摘しました。各地区のガバナー、会長が一貫した方向性を持ち、前任者の施策を尊重しながら推進することで、**持続的な発展**が可能になるとの内容でした。

次は、「**パートナーシップ**」についてです。ロータリーが**単独で成し遂げられることには限界**があるため、**外部の組織と連携**することでより大きな影響を与えられると次年度会長は述べました。

例えば、ロータリーが「**ポリオ根絶**」に向けて40年間で230億ドルもの資金を投じ、成功を収めたのは、**ビル&メリンダ財団やユニセフとの協力**があったからです。この経験を活かし、**ビジネス団体、専門職団体、学術機関**などとの**パートナーシップ**を強化することでロータリーの**会員基盤**を拡大し多様な人材を引き込むことができると強調しました。

最後に、「ロータリーの活動は、**友情を育み、楽しむことも大切である。**」と述べました。そして「**ロータリーはよいことのために団結する組織であり、この精神を、誇りを持って受け継いでほしい**」と呼びかけました。

次年度会長のスピーチは、ロータリーの持つ**可能性と未来への希望**に満ちた力強いメッセージで纏められたとのことでした。

次に**藤枝南クラブ組織**について、お話をさせていただきます。

クラブ計画書の33ページを開きください。今年度の組織の特徴は、2026-27年度「若林ガバナー」支える体制として**ガバナー準備委員会**より、佐野芳正さん、**地区大会実行委員会**より松浦正秋さんの**2名の理事を増員**させていただいたことです。

34ページには、ガバナー準備委員会、地区大会

実行委員会、ガバナーエレクト事務所、地区出向メンバーを記載させていただきました。

今年度から次年度へと多くの皆様の**地区委員就任に感謝**いたします。

なお、ガバナー準備委員会の皆様には、「藤枝らしさ」を取り入れた地区大会実行委員会が作成する**基本計画（2026年1月末予定）への提言委員会**を計画しておりますので、よろしくお願いいたします。

最後に**今年度の例会スケジュール**です。47ページをお開きください。

今年度のスケジュールは、例会に加え、ガバナーエレクト事務所スケジュールも記載いたしました。

7月は、16日に藤枝クラブを表敬訪問し会長挨拶をしてまいります。18日には、藤枝クラブが来訪します。20日、第3回チームミーティングはガバナーエレクト事務所の活動です。25日は、藤枝南ロータリークラブ定款第7条会合、**第1節例会d-(1)**に祝日にあたる場合、または**その週に祝日**が含まれる場合は例会を取りやめることができますので、今年度は、**祝日週の例会は休会**といたしました。

8月は、8日に杉本ガバナー補佐訪問を計画しております。18日に**青少年長期派遣出迎え**を予定しております。22日、納涼例会 29日、稲葉ガバナー公式訪問です。

9月5日に**次年度指名委員会**が発足予定です。**10月4日（土）静岡第4グループ IM**が焼津文化センターで開催されますのでよろしくお願いいたします。10日は、**移動例会**で**J2 MYFC**のホームグラウンドの藤枝総合運動公園のバックヤードツアーを予定しております。

11月は、14日**移動例会**で建設中の**アジアン・カンフー・ジェネレーション**のお茶屋さんの倉庫を改装した、**音楽スタジオ見学**を予定しております。

12月は6日～7日に**伊東市、川奈**で**地区大会**が開催されますので、次年度に向けて、多くの会員の皆様の**視察参加**をお願いいたします。13日には**地区諮問委員会**、26日に「**年忘れクリスマス例会**」を計画しております。

1月以降の例年と違うところは、**3月22日（日）エレクト事務所**が開催する**PELS（生涯学習センター）**

4月26日（日）クラブ・ラーニングセミナーが**静岡ツインメッセ**で開催されますので、**藤枝南クラブが運営主体**となりますので、みなさまの御協力

をお願いいたします。

親睦旅行は、5月23日(土)～24日(日)2024年10月に開業しました、J2「V・ファーレ長崎」長崎スタジアムシティ・ツアーを計画しておりますが試合日程が、2026年1月にならないと決定しないので、日程を優先するのか、対戦相手(MYFC/ジュビロ)を優先するのか思案中です。以上で会長卓話を終わります。ご清聴ありがとうございました。

■ 幹事挨拶

加藤智之君



2025-26年度、幹事を務めさせていただきます加藤智之です。

改めまして、宜しくお願い致します。

まだまだ分からない事ばかりで後手後手

になる事ばかりですが、皆様ご存知の通りほめてのびるタイプなので、寛容に Positive にご指導を頂ければと思います。

Enjoy 精神で幹事の職務を全うして、時には会長のすぐ横で皆さんを引っ張っていき時には会長から遠く離れて後方から皆さんを押し上げる様な動きが出来ればと思っています。

会長のテーマにもありますように、自分の個性、得意な事をさらに个性的に伸ばしてロータリーを楽しめる為にも、クラブが潤滑に回る様に各委員長とのコミュニケーションを大切にして親睦の計画と会員拡大増強に注力しつつ、会長を、クラブを、支えていこうと思いますので1年間どうぞ宜しくお願い致します。



■ ガバナーエレクト挨拶

若林秀典君



7月1日よりガバナーエレクトになりました若林秀典です。

7月1日(火)東京プリンスホテルで「2025~26年度ガ

バナー・元・次期ガバナー懇親会」が開催され、親睦を深めるとともに他地区のいろいろな現状、問題点、よかった内容の情報交換をしてきました。

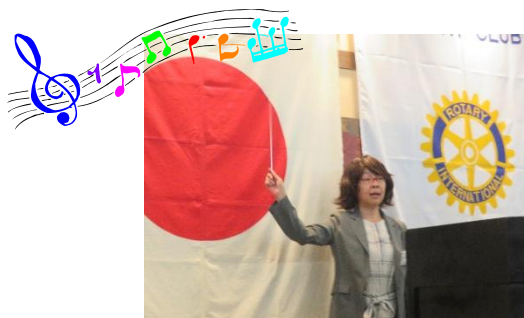
さて RI 会長はブラジルのカマルゴさんからイタリアのフランチェスコ・アレツォ氏に決まりました。どうも RI 会長選考時(5人で選挙)の2番手らしいです。会長メッセージの「UNITE FOR GOOD」(よいことのために手を取りあおう)はそのままのようです。

2026~27年度の RI 会長は韓国のユン・サング氏ですがすい臓がん療養中(10月まで)でカルガリー国際大会ではビデオメッセージでしたが7月1日にメールで、オランダでお会いするのを楽しみにしていますという内容が届きました。3,4 か月先の健康状態はわかりませんが本人はやる気満々の感じでした。

エレクト年度は準備の期間です。地区チームミーティング(あと3回)、次期チームミーティング(10月18日)、次期委員長会議(11月29日)、地区チーム研修セミナー(2026年2月28日)、Pels(次期会長・幹事会3月22日)、地区協議会(4月26日)があります。

また、藤枝南クラブにおいては青少年交換留学生、米山奨学生のホストクラブになっておりだいぶ負荷がかかっている状態にいます。会員の皆様の協力なくしてはできないことばかりですのでどうかご支援のほどよろしくお願いします。

最後に 2027年の国際大会はドバイに決定しました。





皆さんこんにちは、
本日から藤枝南ロータリークラブ第35代会長を務めることになりました。鈴木寿幸です。不慣れなことが多々あると思いますが、よろしくお願いいたします。

年度が改まりましたので、「今週の一言」は、漆畑年度の「行ったところ、行きたいところ」から、「好きな言葉」になりました。

古川クラブ運営・親睦委員長からは、1分程度でお願いしたいとの話があり、語りつくせぬ場合は会報誌面をご利用くださいとの案内がありました。「私の好きな言葉」それは、「井の中の蛙、大海を知らず、されど・・・」です。荘子のことばで、中国語では、「井戸の底のカエル」などと表現されます。「自分の狭い知識や経験にとらわれており、他に広い世界があることを知らないような人のことを意味します。

日本では、この言葉に永六輔さんが、「井の中の蛙大海を知らず、されど空の深さを知る」、「空の青さを知ると」また、思想家の安岡正篤（まさひろ）は、「壺中の天を知る」語られました。狭い世界にいるからこそ、深い知識や知見を得られることを意味し、特定の分野を突き詰めたことで得られる専門性や知見の深さを表現できるとえです。

このような、ネガティブな言葉もポジティブに言い換えれば、お互いが気持ちよく過ごせる「付け足し言葉が、言い換え言葉が大好きです。」

例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
7/11(金) 第 1604 回	委員長挨拶	小杉苑
7/18(金) 第 1605 回	藤枝 RC 会長挨拶	小杉苑
8/1(金) 第 1606 回	会員卓話	理事会
8/8(金) 第 1607 回	ガバナー補佐訪問	小杉苑

おめでとうございます！



(担当/秋谷貴也君)